

令和元年度事業団報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会、評議員会等状況

- 令和元年 5月16日 八代市社会福祉事業団監事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開き、監事（馬淵惺敬氏、増田等氏）による平成30年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第32条に基づき監事の承認を受けた。
- 令和元年 5月30日 第134回（令和元年度第1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成30年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の認定を受けた。また、事業団役員（理事・監事）候補者の選任、事業団定時評議員会の招集、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。
- 令和元年 6月18日 第9回（令和元年度第1回）定時評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成30年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の承認を受けた。また事業団役員（理事・監事）の選任について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 令和元年 6月18日 第135回（令和元年度第2回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、理事長として中村博生氏、副理事長として丸山智子氏の選任を行った。
- 令和元年 6月25日 平成30年度資産総額の変更及び代表理事の重任登記について組合等登記令第3条第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（令和元年6月28日完了）
- 令和元年10月18日 第136回（令和元年度第3回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和元年度収支補正予算、保寿寮屋根改修工事に係る入札方法の選定、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。報告事項として利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。
- 令和元年11月20日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、保寿寮屋根改修工事入札結果について報告、保寿寮屋根改修工事に係る委託契約の承認について承認を受けた。（第137回令和元年度第4回理事会）
- 令和元年12月24日 第138回（令和元年度第5回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、グループホームおおぞら荘建設（建替え）に伴う土地の取得、令和元年度収支補正予算、指定障害児通所支援事業者指定申請の同意・承認を求めることについて承認を受けた。利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。
- 令和2年 1月28日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、グループホームおおぞら荘建設（建替え）に伴う土地売買契約の承認を受けた。（第139回令和元年度第6回理事会）
- 令和2年 3月17日 第140回（令和元年度第7回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和元年度会計収支補正予算、令和2年度事業計画・当初予算、グループホームおおぞら荘設計建設に伴う基本計画、利益相反行為及び双方代理となる事項、事業団諸規程の改正及び事業団人事案件について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。

2. 経 営 計 画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
- ・本年度は法人の消費税計算方法を本則課税に変更し節税対策を行った。保寿寮屋根改修工事を行ったため本則課税方式により節税が見込める。
- ※本年度は保寿寮屋根改修工事入札を行い松本板金工業㈱が落札し委託契約を結んだ。工事期間は令和2年1月11日から令和2年5月25日。詳細は保寿寮事業報告に記載。
- ・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）とグループホームおおぞら荘（共同生活援助事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるように施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。

○法人、施設経営への参画意識を高める

財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費給付費）、受託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。

○人材の育成

今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

3. グループホーム建設（建替え）に係る報告

○平成31年4月～令和元年9月

- ・土地検索、見学、交渉
- ・事業団内部協議
- ・平成30年度土地検索状況報告（5月理事会）

○令和元年10月

- ・理事会報告（土地検索の現状報告）
- ・地権者への訪問

○令和元年11月

- ・事業団内部協議（土地取得に関する最終協議）
- ・土地取得等のスケジュール策定

○令和元年12月

- ・土地取得に係る予算措置の策定
- ・理事会での承認（土地取得及び補正予算の承認）
- ・地権者への訪問（理事会承認の報告）

○令和2年1月

- ・熊本西税務署との収用特例に係る事前協議（1/29 収用特例申請を郵送にて提出）
- ・理事会の承認（土地売買契約案の承認）
- ・地権者との土地売買契約等の締結（締結後、手付金の支払）

○令和2年2月

- ・熊本県へ障がい者福祉施設整備補助金申請手続きに関する事前相談

○令和2年3月

- ・八代市へ農地転用の許可申請（3/30 許可通知）
- ・理事会の承認（グループホームおおぞら荘建替え基本計画の承認）
- ・土地代等の手付金を除く残額の支払
- ・土地の所有者移転登記手続き（4/9 登記済）

4. 指定管理者の状況

- ・八代市との協定書の締結（平成28年4月1日）
希望の里たいよう 指定期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日の5年間（4年経過）

5. 施設運営の変更等

- ・八代市のぞみ母子センター名称変更及び福祉型児童発達支援センターの設置について、熊本県に令和2年（2020年）1月20日付で届出し、令和2年（2020年）3月30日に認可された。令和2年4月1日より名称が「児童発達支援センターのぞみ」となる。

6. 苦 情 相 談 状 況

- ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。

7. 施 設 長 会

- ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定例的に開催した。
- ・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。

8. 職 員 会 議 ・ 事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、令和元年5月、9月、令和2年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的に実施した。なお、9月と2月に事業団内部経理監査を併せて実施した。
9. 職 員 研 修 ・ 事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。
 ・ 事業団職員が人権を正しく理解し、施設利用の皆様へのサービス向上につなげるため、全職員を対象に人権に関する研修会を令和元年6月に実施した。
 ・ 事業団職員が組織人としてのモラルを高めるため、等級別に分けて、それぞれの役職に応じた研修を社労士より令和元年6月、9月に事業団職員研修として実施した。
 ・ 事業団事業内容について説明報告し、職員相互の連携及び意思統一を図り、組織一丸となり事業を推進していくために令和2年1月事業団職員全体集会を行った
10. 人 事 評 価 ・ 令和元年11月25日付、役職別及び職種別ごとに、行動評価並びに目標達成評価を実施した。
 評価の内容については、スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係において、課題（スーパービジョン）と達成案件を共有し、スーパーバイザーの助言により、今後の目標設定を行った。
 上司部下の信頼関係を構築し、個々の職員に合わせた直近で取り組むべき課題を明確にすることで、働きやすい環境づくりに取り組んだ。
11. 人 事 関 係 ・ 事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
 ・ 定 年 退 職 者<令和2年3月31日>八代市社会福祉事業団 事務局長 橋 本 洋 明 氏
 八代市社会福祉事業団 係 長 濱 田 千穂子 氏
 八代市社会福祉事業団 主 任 深 田 穂 波 氏
 ・ 新 規 採 用 者<令和2年 4月1日>八代市社会福祉事業団 主 事 田 並 和 也 氏
 八代市社会福祉事業団 主 事 内 山 紫 乃 氏
12. 寄 付 関 係 ・ 令和元年 5月23日 坂本ヒサ子様より（利用者ご家族） 50,000円（希望の里たいようへ寄付）
 ・ 令和元年 6月17日 岡本幸恵様より（利用者ご家族） 100,000円（希望の里たいようへ寄付）
 ・ 令和元年12月10日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円（希望の里たいようへ寄付）

13. 行 事 実 施 表 ・ ・ ・ ・ 別表1

14. 自主事業及び受託施設等の運営事業状況

(1) 老 人 福 祉 施 設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮
(2) 障 害 児 通 所 支 援 事 業 所 ・ 八代圏域地域療育センター事業	八代市のぞみ母子センター
(3) 共 同 生 活 援 助 事 業	グループホームおおぞら荘
(4) 障 が い 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所	八代市立希望の里たいよう
(5) 相 談 支 援 事 業	相談支援事業所たいよう

令和元年度行事实施表

月 別	内 容
H31. 4	1. 辞令交付（市長室） 1. 第1四半期委託料 3. 苦情解決第三者委員委嘱状交付 4. 再雇用制度説明会（のぞみ・保寿寮） 11. 土地に係る関係者会議（たいよう） 19. 給与支払 24. 定例施設長会（たいよう） 25. 税理士決算監査 11、22、23 特定保健指導（6名）
R1. 5	9. 施設長・庶務担当者会議（たいよう） 13. 土地に係る関係者会議（たいよう） 16. 事業団監事会（たいよう） 21. 給与支払 22. 土地に係る関係者会議（たいよう） 24. 定例施設長会議（たいよう） 29. 新規学校卒業者対象求人説明会 30. 事業団理事会（たいよう）
6	5. 庶務研修「本則課税」（たいよう） 7. 苦情解決第三者委員視察（全施設） 11. 安全管理講習会 12. 電子開示システム入力講習会 18. 事業団評議員会（たいよう） 18. 事業団理事会（たいよう） 18. 臨時施設長会議 21. 給与支払 21. 県指導監査説明会 24. 定例施設長会・管理者研修（たいよう） 25. 第1回職員人権啓発研修（たいよう） 28. 期末勤勉手当支給 29. 八代市いきいきふくしスポーツ大会
7	1. 第2四半期委託料 1. 保寿寮屋根会議（内部） 2. 人権問題に関する事業主等研修会 9. 社会福祉法人制度改革対応セミナー 10. 事業団人権研修会（のぞみ） 16. 保寿寮屋根補修協議（市・業者・事務局） 18. 全事協九州ブロック会議 19. 給与支払 25. 市障がい者支援課視察5名 25. グループホーム土地関係協議（たいよう） 25. 定例施設長会（たいよう） 29. グループホーム協力医機関依頼（たかた歯科医院）
8	1. 職員採用学校訪問（3校） 21. 給与支払 26. 定例施設長会（たいよう） 27. 公正採用選考人権同和問題啓発研修 27. 水俣市事業団視察
9	2. 土地関係打合 5. 保寿寮屋根改修協議 10. 児童発達支援センターに向けた協議（八代市、氷川町） 12. 税理士月次監査 12. 保寿寮屋根改修協議（市健康福祉政策課） 19. 年金委員実務研修 20. 給与支払 25. 庶務担当者会議（内部経理監査） 27. 定例施設長会・管理者研修会（たいよう） 30. 苦情相談委員会（たいよう）
10	1. 第3四半期委託料 1. 医師会専門部会出席 3. 児童発達支援センターにこにこ視察 9. 安全運転管理者講習 11. 受動喫煙防止対策研修会 11. 臨時施設長会 15. 税理士月次監査（たいよう） 18. 事業団理事会（たいよう） 20. 事業団職員採用試験（たいよう） 21. 給与支払 25. 県内事業団事務職員研修会（荒尾市） 28. 定例施設長会（たいよう） 30. 保寿寮屋根改修工事事前説明会（保寿寮） 25-31. 職員健康診断
11	3. 令和改元記念たいよう祭 12. 臨時施設長会 13. 社会保険事務説明会 13. 土地関係内部会議（保寿寮） 14. 屋根改修工事入札（保寿寮）理事2名監事1名参加 15. 土地関係内部会議（保寿寮）顧問事務所 19. 年末調整説明会 21. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 28-29. 全事協九州ブロック職員研修（別府市） 19-20. 職員健康診断
12	10. 期末勤勉手当支給 11. 県社協退職共済事業事務説明会 13. 八代市ふれあいフェスタ会議 19. 税理士月次監査（年末調整） 20. 市障がい者支援課との事前協議（のぞみ） 20. 給与支払 24. 事業団理事会 25. 定例施設長会（たいよう）、地権者へ挨拶 25. 熊本県との事前協議（のぞみ） 27. 年末調整支給 27. 事業団仕事納め式・永年勤続表彰
R2. 1	6. 事業団仕事始め式（たいよう） 6. 第4四半期委託料 8. 八代市地域福祉計画策定委員会 10. 八代市指導監査（法人） 11. 八代市社協役員研修会 14. 熊本県西税務署との事前協議 16. 臨時施設長会（たいよう） 16. 事業団職員研修 17. 土地売買契約に関する協議 20. 熊本県との指定申請（のぞみ）協議 21. 税理士月次監査（給与支払報告） 21. 給与支払 27. 定例施設長会（たいよう） 28. 事業団理事会（決議の省略） 29. 土地売買契約締結
2	5. 県障がい者支援課へ相談（県庁） 6. 臨時施設長会（たいよう） 9. 事業団職員採用試験 12. 臨時施設長会（たいよう） 20. 健康保険委員研修 21. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 26. 庶務担当者会議（内部経理監査）
3	10. 臨時施設長会（たいよう） 17. 事業団理事会（たいよう） 19. 給与支払 23. 土地現地説明 26. 定例施設長会（たいよう） 31. 辞令交付式（市長室）・退職式 ・土地関係処理（支払・名義変更等）

令和元年度 指定相談支援事業所たいう事業報告書

(1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市日奈久平成町 1-1 養護老人ホーム 保寿寮内

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

(5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・令和元年度につきましては実施なし（該当者なし）

①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

(6) 資質向上

①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)

②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)

(7) 関係機関等との連携

①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。

②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者(児)事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。

③サービス担当者会議等により、本人の希望等、計画への共通理解、情報共有を図った。

(8) 利用者数(契約者数)

対象者	利用者数(令和2年3月末現在)
障がい者	33名
障がい児	47名
計	80名

(9) 実施支援数

①訪問相談	33件	④サービス担当者会議等	79件
②来所相談	11件	⑤関係機関との調整	296件
③電話相談	47件	⑥同行・その他	556件

(10) 計画相談支援・障がい児計画相談支援

計画相談支援	
契約者数	33 名
1. サービス等利用計画作成	20 件
2. モニタリング	69 件
3. サービス担当者会議実施加算	3 件
4. サービス提供時モニタリング加算	78 件
5. 医療・保育・教育機関等連携加算	0件
6. 居宅介護支援事業所等連携加算	1件

障がい児計画相談支援	
契約者数	47 名
1. サービス等利用計画作成	36 件
2. モニタリング	90 件
3. サービス担当者会議実施加算	3 件
4. サービス提供時モニタリング加算	57 件
5. 医療・保育・教育機関等連携加算	15 件

老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

1. 設 置 目 的

環境上の理由および経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を入所させて養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする。

2. 基 本 方 針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系（別紙資料1）

4. 入所者の状況

平成31年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	18	32	50
	市外	0	0	0
	合計	18	32	50
平均年齢		75.7	84.9	81.6
最高年齢		88	96	—
最低年齢		67	67	—

市外入所者内訳

令和2年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	19	30	50
	市外	0	1	0
	合計	19	31	50
平均年齢		77.7	85.7	82.7
最高年齢		89	97	—
最低年齢		66	66	—

市外入所者内訳

5. 年齢別入所状況

平成31年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	3	5	7	1	2	0	0	18
女	0	0	2	3	2	5	10	8	2	32
合計	0	0	5	8	9	6	12	8	2	50

令和2年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	3	2	9	1	4	0	0	19
女	0	0	1	3	4	6	5	10	2	31
合計	0	0	4	5	13	7	9	10	2	50

6. ショートスティ利用状況

利 用 者 2 名 (女 2 名)

- ・理 由 . . . 私的理由
- ・延べ日数 . . . 11 日

7. 外部介護サービス利用状況

・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用

平成31年4月1日現在 合計14名

（要支援2名、要介護者12名）

	利用者数
男	1
女	7
合計	8

令和2年3月31日現在 合計18名

（要支援7名、要介護者11名）

	利用者数
男	4
女	5
合計	9

8. 障害者加算認定対象者増減状況

平成31年4月1日現在

（身障4名、知的4名、精神4名）

医療的診断書0名）

	対象者数
男	5
女	7
合計	12

令和2年3月31日現在

（身障3名、知的3名、精神4名）

医療的診断書0名）

	対象者数
男	4
女	6
合計	10

9. 職員の配置状況

令和2年3月31日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事 務 員	1
栄養士（嘱託）	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生 活 相 談 員	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱 託 医	1
合計	12

10. 保寿寮屋根改修工事に係る報告

①屋根整備に関する関係者会議

- ・実施月（7月2回、9月2回）

②令和元年10月18日

- ・理事会（補正予算、入札方法の選定）

③令和元年10月30日

- ・指名入札業者説明会（4社）

④令和元年11月14日

- ・指名入札実施（理事・監事立ち合いのもと実施）
松本板金工業株式会社に決定。

⑤令和元年11月19日

- ・理事会（決議の省略による開催）
入札結果の報告、松本板金工業株式会社との委託契約の締結。

⑥令和2年1月23日

- ・入所者へ工事に関する説明会

⑦令和2年3月2日

- ・日奈久下西町内への説明（回覧並びに文書配布）
※町内長へは事前説明済み

⑧令和2年3月5日

- ・給食関係等、関係業者への文書説明（コロナの為）
・入所者身元引受人等への文書説明（コロナの為）

1 1. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/2	厨房内カウンター取替修理	カウンター腐食の為	106.500 円
4/16	ハイエースバンオイル漏れ他	オイル漏れ等が発生した為	46.288 円
6/7	浴室内外塗装	浴室、脱衣場、天井塗装が剥げていた為	129.670 円
6/15	グリストラップ内ポンプ交換	ポンプが常に作動している状態の為	162.000 円
6/30	浄化槽放流ポンプ故障	ポンプ線繋ぎ替え、電気絶縁測定にて故障判明した為	124.902 円
7/10	職員トイレ、身障用トイレ改修一式	和式トイレを洋式、身障用トイレ便座、照明交換為	448.200 円
8/2	ティサーバー内フロート他部品交換	不規則に水が流れている状態である為	21.503 円
8/5	浄化槽内補修及び補強工事	浄化槽内壁部分異常が見られた為	169.560 円
9/18	廊下通路誘導灯交換	投下不良の為	50.760 円
10/5	食堂エアコン部品交換	部品破損によるガス漏れの為	128.700 円
10/7	ボイラーマイコン制御盤他部品修理	水漏れが原因で制御盤他が全く運転しない為	745.200 円
10/15	1 階廊下天井内給湯管からの漏水修理	給湯管漏水の為	123.200 円
10/30	作業室外壁防水工事	外壁より雨水が入り込んでいる状態である為	162.000 円
11/27	自家発電設備性序盤内部部品不良取替修理	手動起動のみ運転稼働の為	1.231.200 円
12/3	ボイラー室間接続部分玉形フレキ交換	膨張し破損の恐れがある為	236.500 円
12/26	ボイラー室玉形フレキ取替追加分	2か所管破損の恐れがある為	110.000 円
1/18	地下ピット内給湯管修理	給湯管からの漏水の為	99.000 円
			円
			円
設備整備合計金額：4.095.183 円			

1 2.令和元年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

②. 入退所状況

（1）入所

月/日	氏名(男女別)	入所前居住先
4/26	女 性	在宅
5/24	男 性	在宅
5/28	女 性	有料老人ホーム
7/31	男 性	在宅
8/30	女 性	有料老人ホーム
10/1	男 性	老健施設
11/1	男 性	在宅
12/16	男 性	在宅
12/24	女 性	老健施設
2/27	女 性	在宅
3/25	男 性	在宅

（2）退所

月/日	氏名(男女別)	退所先
4/17	男 性	病院
5/8	女 性	病院
5/17	女 性	老健施設
7/19	女 性	老健施設
8/20	女 性	病院
9/20	女 性	死亡（病院にて）
10/21	男 性	病院
12/2	男 性	病院
12/2	女 性	病院
2/7	男 性	病院
3/18	男 性	病院

1 3. 事故報告件数

令和元年度件数 42件

（内 訳）

- ① 転倒（屋内） 26件
- ② 転倒（屋外） 5件
- ③ 誤嚥（食事） 0件
- ⑤ 服薬（誤飲） 0件
- ⑦ 無断外出 2件
- ⑧ 救急医療 1件
- ⑦その他 8件

※職員会議にて報告・検討

1 4. 苦情相談件数

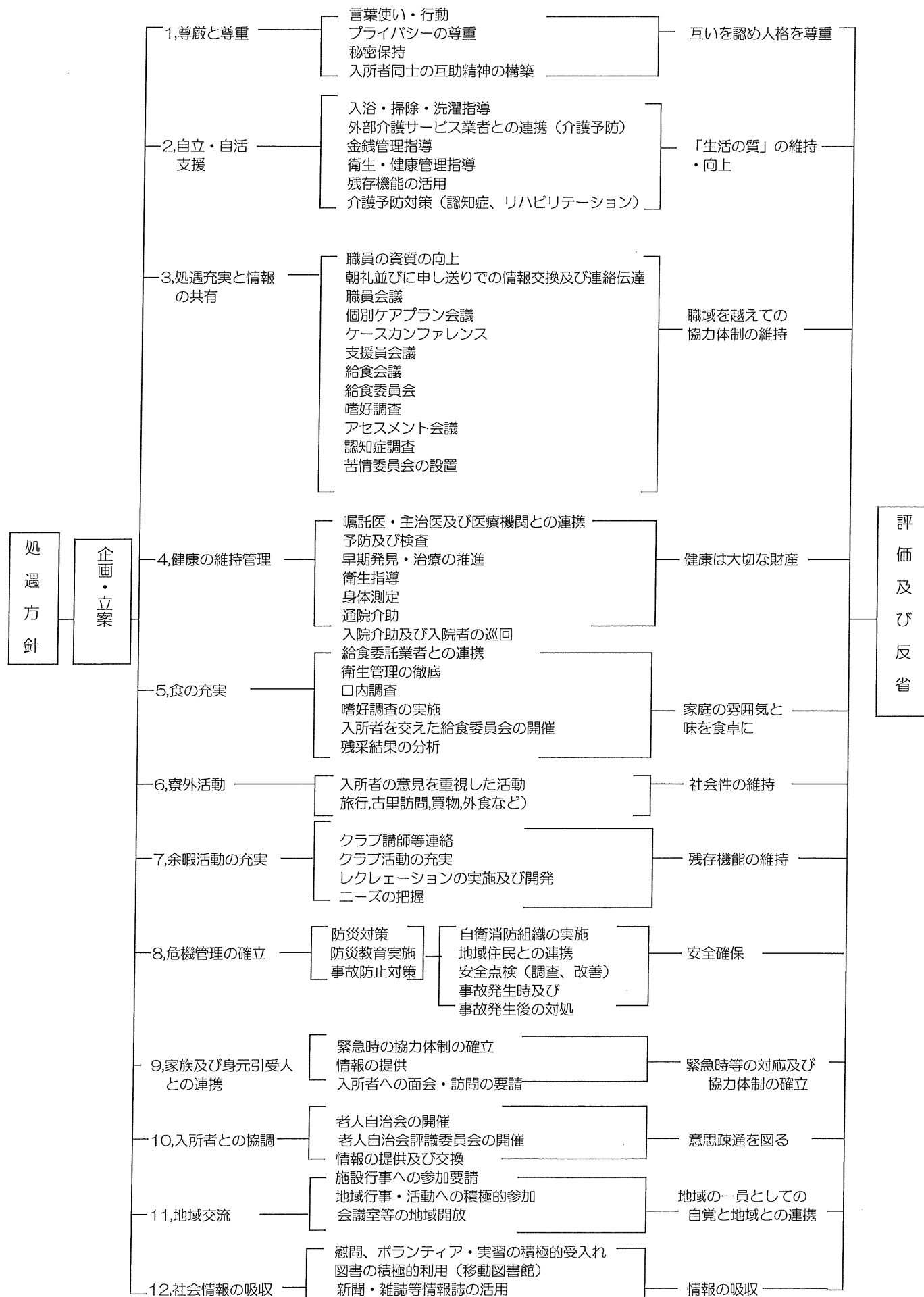
令和元年度件数 10件（内：未解決0件）

（内 訳）

- ② 他入所者とのトラブル（暴力・暴言等） 0件
- ②被害妄想と思われるもの（居室侵入等） 0件
- ④ 職員の対応等に対するもの 5件
- ⑥ 身元・地域・事業所等外部からの 0件
- 苦情相談
- ⑤その他 5件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	・自治会 ・職員会議 ・ケアプラン会議	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、花見 地域清 掃	介護訪問調査、 感染症対策委員会	瑞峰流慰問 日奈久小学校入学式
5	・アセスメント会議 ・理髪	菖蒲風呂、バラ園見学 地域清掃	認知症調査、 介護訪問調査	日奈久小中合同運動会見学
6	・体調測定 ・誕生会 ・コーヒータイム ・カラオケ ・特別メニュー食(月1回) ・買物日	苗植え(から芋)、 寮内草取り	介護訪問調査、保健衛生指 導、給食委員会、エアコン 清掃、水質検査(温泉水) 室内消毒、身体拘束委員会 レジオネラ症防止対策に 関する勉強会	日奈久小4年生交流会
7	・誕生月に御家族へ の近況報告 (各担当から処遇報告)	七夕、預貯金報告 全体レクリエーション	検尿、健康診断(心電図・ 一般採血・リドゲン)、介護 訪問調査、 感染症対策委員会	日奈久小4年生交流会 日奈久老人会交流会
8		盆用品買物、仏壇磨き、 盆供養法話	嗜好・口内調査、介護訪問 調査、ガラス清掃、換気 扇・トイレ排水溝掃除、 布団クリーニング	
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 余暇活動(阿蘇班) 地域清掃	給食委員会、介護訪問調 査、貯水槽清掃、給食委員 会、身体拘束委員会 施設内外安全点検	八代市盲人福祉協議会慰問 日奈久3年生交流会
10		寮内草取り、芋掘り、 預貯金報告、交通安全教室 (市役所)、余暇活動(熊本 班)	介護訪問調査、インフルエ ンザ予防注射、嗜好調査、 浄化槽清掃、ワックス清掃	
11		妙見祭見学、 たいよう祭見学 防火避難(昼間想定)	介護訪問調査、エアコン清 掃、室内消毒、感染症対策 委員会	花馬來寮
12		忘年会、正月用品買物、 大掃除、ゆず風呂、 余暇活動(天草班)	保健衛生指導、介護訪問調 査、ガラス清掃、給食委員 会、上水道法定検査	日奈久小4年生交流会、 八代地域婦人会慰問
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、給食委 員会、介護訪問調査	
2		豆まき 防災避難訓練(夜間想定) 全体レクリエーション	食事摂取調査、給湯器洗浄 消防設備点検、介護訪問調 査、身体拘束委員会 室内外安全点検	入所者現況調査
3		彼岸供養、 避難訓練(津波想定)	給食委員会 健康診断(心電図・一般採 血・検尿)、介護訪問調査	

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(8名) ・詩 吟・毎月2回(9名) ・書 道・毎月2回(10名) ・音 楽・毎月2回(希望者)
・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者) ・魚釣り

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年2回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回) ※各種施設点検(随時)

令和元年度 障害児通所支援事業所 八代市のぞみ母子センター 事業報告書

1、施設理念

- ① 母子療育を基本とし、療育を通してよりよい家庭関係が育つように支援します。
- ② お子さんが生活しやすくなるように、一人ひとりに応じた支援を行います。

2、基本方針

- ① 懇切丁寧に適切な指導技術をもって指導する
- ② 児童の個々の状況に応じた通所支援計画を作成し、その計画に即した適切な療育支援を提供するため、一日一定時間以上の個別指導を実施する
- ③ サービス提供方法等について理解しやすいように説明を行い、関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図る。
- ④ サービス提供終了に際しては、児童又はその家族に対して適切な指導を行うと共に関係する市町村他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、サービス支援の情報提供に努める。
- ⑤ 児童それぞれの人格を尊重し、プライバシーの保護に努める。
- ⑥ 苦情解決の第三者委員による苦情処理に添った問題解決に努める。
- ⑦ その他、指定障害児通所支援事業所の提供上必要な支援を行う。

3、職員配置状況(令和2年3月31日現在)

職 種	職員数	勤務形態
管理者	1	常勤・兼務
児童発達支援管理責任者	1	常勤・専従
保育士(嘱託1・臨時1)	3	常勤・専従
保育士	2	常勤・兼務
訪問支援員	1	常勤・兼務

4、利用者年齢別(令和2年3月31日現在)

	012	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	高1
男	4	7	4	7	8	4	1	4	2	6	3	0	1	1
女	2	6	1	1	2	5	1	0	1	2	1	1	0	0
計	6	13	5	8	10	9	2	4	3	8	4	1	1	1

5、利用者障害別(令和2年3月31日現在)

種別	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援
肢体不自由児	0	2	0
自閉的傾向児	8	26	7
ダウン症児	0	0	0
知的障害児	7	4	5
その他	3	3	1
未診断	14	8	5
計	32	43	18

6、療育の内容

児童発達支援

1)年齢別クラス

- ・活動 月・火・水・木・金は 8 時 30 分～12 時 30 分、
火・木は 13 時 30 分～17 時 30 分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解
コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

2)身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1 時間 30 分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ること
を目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

放課後等デイサービス

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう
指導及び訓練を行う。

※土曜日療育

- ・活動 第2土曜日(療育時間:8 時 30 分～14 時 30 分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分で行い、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる
機会を作る。

保育所等訪問支援

- ・活動 月曜日 8 時 30 分～17 時 30 分、
- ・対象児 障害児通所給付を受けた児童
- ・目的 障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を
行う

一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30	保育所等訪問	年中児	年少児	年少児	0,1,2歳児	8:30～14:30
13:30～17:30	保育所等訪問	年長児1		年長児2		・児童発達支援 ・放課後等デイ ・身辺自立
	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	

7、事故報告件数

1件

(内訳)小学3年男児がアクアビーズを耳に入れ、耳鼻科へ連れて行く
※職員会議にて報告・検討

8、ヒアリハット件数

2件

(内訳)玄関からの飛び出し
※事後ミーティングで検討・職員会議で報告

9、苦情相談件数 0件（意見箱）

※令和2年3月、保護者等からの事業所評価と事業所における自己評価を行い、令和2年4月集計結果と業務改善点を廊下に掲示し、各ご家庭へ配布した。

- 主な要望・改善点
- ・療育を行うスタッフの写真掲示の確認と周知
 - ・保護者の茶話会に自由ノートを用意
 - ・各クラスでの年1回の避難訓練実施
 - ・高学年対象の運動プログラム
 - ・地域のお子さんとの活動の機会の提供

10、三次圏域（熊本県こども総合療育センター、南部発達障がい者支援センターわるつ）、二次圏域（八代圏域地域療育センター）からの支援 ※行事実施表記載

11、評価

- ・のぞみが主体となり、家族支援プログラム（ペアレントプログラム）講座（6回コース）を年長児と放課後等デイの保護者に行った。保護者同士顔見知りになり話そうになってうれしいとの意見をいただいた。
- ・令和2年度児童発達支援センターに移行するため勉強会を実施しスタッフの意識改革を行った。
- ・全スタッフがくまもと芦北療育医療センターの見学実習を行い、医療的ケア児支援について学んだ。
- ・療育の事前・事後のミーティングの充実と記録方法を検討し、説明する力のスキルアップを図った。
- ・個別支援計画の評価会議・共有会議を実施し、どのような支援が求められているのか共通の理解がもてるようにした。
- ・保育所等訪問支援を1月から実施した。良い評価をいただき継続的な予約があったが、コロナの影響で3月は自粛した。

12. 利用状況

区分 月	開所 日数	児童発達支援			放課後等デイ			月間 人数	一日平 均人数	前年度 一日平均 人数	家庭 連携	関係 機関 連携	事業 所内 相談	保育所等訪問	
		契約 人数	延べ 人数	欠席 人数	契約 人数	延べ 人数	欠席 人数							契約 人数	延べ 回数
4	22	20	57	7	48	137	9	194	8.8	8.3	6	5		12	
5	21	22	81	7	47	127	16	208	9.9	9.4	1	5		12	
6	21	23	76	8	47	129	19	205	9.8	9.6		5		13	
7	23	24	88	12	46	125	11	213	9.3	9.4	1	6		15	
8	22	27	78	18	46	105	13	183	8.3	9.1		2		15	
9	20	27	88	7	46	120	10	208	10.4	9.4	2	5		15	
10	22	28	76	15	46	123	13	199	9.0	9.0	6	7		17	
11	21	28	86	12	47	123	14	209	10.0	9.4	3	5		17	
12	21	30	94	20	47	123	14	217	10.3	10.1	1	2		18	
1	20	30	95	13	47	119	13	214	10.7	10.6	1	3		18	2
2	19	32	91	14	45	110	20	201	10.6	9.4	3	2		18	3
3	22	32	92	17	43	103	22	195	8.9	9.8	2	5		18	
計	254	32	1002	150	43	1444	174	2446	9.6	9.4	26	52	0	18	5

13、令和元年度行事实施表

月別	行事関係	療育関係・支援	研修会関係
4	17 八代圏域日程調整会 19 職員会議 20 土曜療育 24、25 第1回特別支援教育就学説明会説明会	16 体操教室(年長・1年)	
5	7 八代地域特別支援連携協議会 13 三者会議 15 八代市特別支援連携協議会 18 土曜療育(美化作業) 18 職員会議	22 体操教室(年少) 30 ペアレントプログラム1 14～17 感染症対策 27 拠点施設支援:作業療法士	八代圏域スタッフ合同研修会 14「療育とは」 21「見立て1」 28「見立て2」 31 八代圏域保護者交流会 「就学に向けて」
6	6 八代支援学校ふれあい体験デー 7 事業団第三者委員視察 15 土曜療育(サシェ作り) 19 職員会議 21 竜北西部小・幼・保事業所連携会議	6 ペアレントプログラム2 13 ペアレントプログラム3 25 体操教室(年中) 27 ペアレントプログラム4	八代圏域スタッフ合同研修会 4「見立て3」 11「見立て4」 18「見立て5」25「見立て6」
7	9 三者会議 11 熊本県子ども総合療育センター連携会議 12 八代圏域通所支援連絡会議 19 職員会議 20 土曜療育 25 市福祉部視察 29 くまもと芦北療育医療センター実習打合せ	18 ペアレントプログラム5 18 ペアレントプログラム6 22～26 外国語指導助手交流 29 体操教室	8 地震の心得について 12 LDについて 10 社会福祉事業団人権研修
8	17 土曜療育(児発:個別) 19 職員会議	5～9 夏祭り 26 拠点施設支援:心理士	27.29 くまもと芦北療育医療センター 見学実習
9	7 土曜療育 11 八代圏域通所支援連絡会議 20 職員会議 30 苦情相談委員会	5 体操教室(0.1.2歳)	2～5 くまもと芦北療育医療センター 見学実習 11 八代圏域保護者交流会 「進学・就職について」 13.26 スキルアップ研修 27 八代圏域スタッフ合同研修会 「ことばの発達」
10	5 土曜療育 10 八代圏域通所支援連絡会議 15、16 第2回特別支援教育就学説明会説明会 21 職員会議 23 消防総合訓練 29 交通安全教室(年長) 30 八代圏域通所支援連絡会議	5 体操教室(放デイ) 28 ペアレントプログラム1 31 拠点施設支援:保育士	3 児童発達支援センターにこにこ視察 4 くまもと芦北療育医療センター反省会 7 八代圏域保護者交流会 「疑似体験」 16 スキルアップ研修
11	18 職員会議 30 代陽校区ふれあい祭	5 体操教室(年長) 11 ペアレントプログラム2 18 ペアレントプログラム3 19 拠点施設支援:作業療法士 25 ペアレントプログラム4	4 療育公開講座 14 スキルアップ研修 20 スキルアップ研修事業所実習 25 八代圏域スタッフ合同研修会 「LDの理解と支援」
12	14 のぞみお楽しみ会(イオン慰問) 18 職員会議	2 ペアレントプログラム5 9 ペアレントプログラム6 17 ペアレントプログラム 23 拠点施設支援:心理士	
1	15 職員会議 21 八代圏域通所支援連絡会議	25 体操教室(放デイ)	13.14 医療的ケア児支援者養成研修 18 子ども総合療育センター公開講座 24 スキルアップ研修
2	3 職員会議 10～26 鹿児島純心女子大学学生実習受け入れ 15 土曜療育 17 職員会議 19 八代圏域通所支援連絡会議	18 ペアプロフォローアップ研修 (年長保護者)	4 児童発達支援管理責任者更新研修
3	5 三者会議 7 土曜療育 9.19 職員会議 24 消防総合訓練	7 体操教室(放デイ) 9 ペアプロフォローアップ研修 (放デイ保護者)	

1. 療育相談員設置事業について

●電話相談（30分以上）：66 件

①相談を受けた主な内容

- ・転入、転出による関係機関の情報（事業所、学校、園等）
- ・地域の情報と連携

2. 療育三事業について

※療育相談員以外で療育三事業に関わる専門職（非常勤専門職）※実績見込み

心理士	半日×29回/年	作業療法士	1日×20回/年
言語聴覚士	半日×16回/年	理学療法士	1日×4回/年

(1) 在宅支援訪問療育等指導事業

	平成 30 年度	令和元年度
相談実人数	27	34
延べ件数	37	53 (市：44、町：9)

① 相談を受けた主な内容

- ・発達相談や児の特性理解
(ことばの遅れ、感覚・運動機能、吃音、発音、パニックや切りかえの悪さなどの問題行動、
身辺自立、構造化 関わり方など)
- ・療育について（情報提供、見学）
- ・医療受診について
- ・学校について（就学先検討、見学、転校など）
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・家庭で取り組めることについて

(2) 在宅支援外来療育等指導事業

	平成 30 年度	令和元年度（1 月現在）
相談実人数	76	87
延べ件数	164	172 (市：164、町：8)

① 相談を受けた主な内容

- ・関わり方、遊び方について（外来療育）
- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音、吃音について
- ・療育について、
- ・医療受診について

- ・保育園について（入園、転園など）
- ・就学相談（学校教育課と連携）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・登園、登校しづりについて
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・学校について（就学先検討、見学など）

（３）施設支援一般指導事業

	平成 30 年度	令和元年度（1 月現在）
相談実施数	58	62
延べ件数	120	167（市：141、町：26）

① 相談を受けたおもな内容

- ・発達相談と児の特性理解と関わり方について
- ・関わり方と遊びについて
- ・保護者への伝え方について
- ・転びやすい子どもの靴の選び方について
- ・Ｏ脚、Ｘ脚、座り方について
- ・クラス運営について
- ・食事、箸の使い方について
- ・サーキットの組み立て方、展開について
- ・体の使い方について
- ・イスと机の調整について
- ・主とサブリーダーの動きについて
- ・環境設定について
- ・基本的生活の大切さ（食事、睡眠、運動、排泄）
- ・褒め方について
- ・研修

3. その他

（１）熊本県こども総合療育センターからの支援と連携

- ・療育拠点施設事業における地域支援
- ・地域療育センター療育相談員研修等（8/20、11/14、11/26）

（２）熊本県南部発達支援センターわるつからの支援と連携

- ・療育拠点施設事業における地域支援
- ・八代圏域ペアレントメンター事業にコーディネーターとして参加
八代地域保護者向け講座、フォローアップ研修

(3) 八代圏域通所支援事業所との連携

- ・障害児通所支援事業所連絡会議（4/17、7/12、10/30、1/21、2/19）
- ・スタッフ合同勉強会
 - 5/14 「療育とは？」
 - 5/21、28、6/4、11、18、25 「見立て1～6」
 - 9/27 「ことばの発達」
 - 11/25 「LDの特性と支援について」

(4) 地域の保護者会への支援

- ・5/31 「就学に向けて」
- ・9/11 「進学・就労について」
- ・10/7 「疑似体験」

(5) 県教育事務所との連携

- ・八代地域特別支援連携協議会（5/7）

(6) 八代市学校教育課との連携

- ・八代市特別支援連携協議会（5/15、2/13）
- ・八代市就学指導委員会（6/28、9/6、11/1、12/20）
- ・八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割（5/24、8/1）
- ・特別支援教育就学説明会（4/24・25、10/15・16）

(7) 氷川町学校教育課との連携

- ・氷川町就学指導委員会（9/3、12/12）

(8) 八代市障がい者支援協議会（7/22、2/20※氷川町地域自立支援協議会合同）

- ・こども部会（5/28、9/17、11/5、2/18）
- ・障害福祉サービス等在り方検討部会（9/25、11/18、2/6）

4. 地域療育センターの課題

(1) 周知について

- ・地域療育センターの事業内容、役割について、関係機関への周知が不十分なところがあったため、依頼される施設の偏りや医療機関へつなげるためだけの依頼の状況があった。今後は、より広く事業内容について関係機関に周知していく必要がある。

(2) 相談体制の充実

- ・「ことば」に対する相談が多かった。来年度は、住民からの相談に柔軟に対応できるよう言語聴覚士の相談回数を増やすと共に、療育相談員のスキルアップを図る。

(3) 事業所支援について

- ・八代圏域通所支援事業所スタッフ合同勉強会を実施し、研修会で学んだことを現場の支援につなげる取り組みを行った。今後も、「熊本県こども総合療育センター」と「熊本県南部発達障がい者支援センターわるつ」の連携をとりながら、情報共有や支援を行っていく。

令和元年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
 (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
 (3)ホーム所在地 八代市麦島東町4号8番地・12番地
 (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
 (5)定 員 6名(男3名・女3名)

2. 入居者状況(令和2年3月31日現在)

(1)定員6名(男3名・女3名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
助 共 事 同 業 生 活 援	入居者	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	3	3
計	6	6

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	3	6
計	3	3	6

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	137歳	45歳
女	188歳	62歳
計	325歳	54歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	3	0	3
計	6	0	6

(6)年齢別

性別	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	0	1	1	1	0	3
女	0	0	0	1	2	3
計	0	1	1	2	2	6

3. 対象者

対象者	対 象 者 像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（管理者との兼務）	4(4対1)

5. 支援内容

(1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場においては、健康作りを目的として20分間程度公園等で散歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

8. 支援結果(まとめ)

(1)日常生活支援

- ① 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ② 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)
- ③ 新規の利用者が入居される際に本人の希望する配置等を聞きながら引っ越し等の支援を行った。

(2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビ鑑賞、または、買い物(外出)に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。(遅くなる時も連絡することができていた。)
- ③ お風呂や共有部分の掃除、食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行った。
- ④ 毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。また、八代手をつなぐ育成会等の行事に参加した。
- ⑤ 毎月、避難訓練(地震含む)を実施した。

(3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行、マスクの着用に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温や健康チェックを行い健康管理に努めた。必要な場合には血圧などの測定を行った。(夜間時も含む。)
- ③ 薬の服用については、自らが確認できるように工夫し支援を行った。
- ④ 体調が悪い時には、世話人で対応し必要な場合においては、事業所及び家族に連絡を行った。
- ⑤ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

(4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種 目			
			買物カゴ	公園作業	印 刷	軽作業
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女3)	就労移行支援事業				
		就労継続支援B型事業	1	1	2	1
就労支援事業所 ステップ1	(男1名)	八代市上野町 3889-6	1			
地域移行	該当者無					

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

9.グループホーム建設（建替え）に係る報告

○平成31年4月～令和元年9月

- ・土地検索、見学、交渉
- ・事業団内部協議
- ・平成30年度土地検索状況報告（5月理事会）

○令和元年10月

- ・理事会報告（土地検索の現状報告）
- ・地権者への訪問

○令和元年11月

- ・事業団内部協議（土地取得に関する最終協議）
- ・土地取得等のスケジュール策定

○令和元年12月

- ・土地取得に係る予算措置の策定
- ・理事会での承認（土地取得及び補正予算の承認）
- ・地権者への訪問（理事会承認の報告）

○令和2年1月

- ・熊本西税務署との収用特例に係る事前協議（1/29 収用特例申請を郵送にて提出）
- ・理事会の承認（土地売買契約案の承認）
- ・地権者との土地売買契約等の締結（締結後、手付金の支払）

○令和2年2月

- ・熊本県へ障がい者福祉施設整備補助金申請手続きに関する事前相談

○令和2年3月

- ・八代市へ農地転用の許可申請（3/30 許可通知）
- ・理事会の承認（グループホームおおぞら荘建替え基本計画の承認）
- ・土地代等の手付金を除く残額の支払
- ・土地の所有者移転登記手続き（4/9 登記済）

令和元年度行事実施表 (グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	その他
4	3 花見 13 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 利用者健診 27 地域清掃	12 消防設備点検 27 避難訓練	18 世話人会議		
5	11 レクリエーション(ドライブ) 18 地域清掃 18 レクリエーション(DVD鑑賞) 21 家族会総会 25 すまいるフェスタ	18 避難訓練 (地震)	21 世話人会議		
6	8 レクリエーション(ドライブ) 22 地域清掃 29 いきいきふくしスポーツ大会	22 避難訓練 (地震)	20 世話人会議		
7	9 レクリエーション(ドライブ) 27 地域清掃 28 レクリエーション(ドライブ)	28 避難訓練	20 世話人会議		29 協力医療機関依頼
8	3・31 レクリエーション(ドライブ) 8 昼食会(外食) 10 大掃除 24 レクリエーション(DVD鑑賞) 31 地域清掃	31 避難訓練	22 世話人会議		
9	7 レクリエーション(DVD鑑賞) 21・28 レクリエーション(ドライブ) 28 地域清掃	28 避難訓練	20 世話人会議		
10	12 レクリエーション(DVD鑑賞) 19 レクリエーション(ドライブ) 26 地域清掃	4 消防設備点検 4 消防立入検査 26 避難訓練	23 世話人会議		12 感染症研修
11	3 たいよう祭参加 16 日帰り旅行(阿蘇方面) 29 誕生会(外食) 30 地域清掃	30 避難訓練	20 世話人会議		
12	7 たいようお楽しみ交流会 14 レクリエーション(ドライブ) 21 レクリエーション(DVD鑑賞) 26 餅つき会 28 地域清掃・大掃除	28 避難訓練	18 世話人会議		3 熊本県実地指導
R2. 1	11 レクリエーション(初詣) 17 鏡開き 18 レクリエーション(3B体操) 25 誕生会 新年会 25 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 地域清掃	25 避難訓練	21 世話人会議		
2	3 豆まき 15 レクリエーション(ドライブ) 22・29 レクリエーション(DVD鑑賞) 29 地域清掃	29 避難訓練	19 世話人会議		4 避難確保計画作成に係る講習会
3	6 誕生会 7 レクリエーション(ペタンク) 14 レクリエーション(DVD鑑賞) 28 地域清掃	28 避難訓練	24 世話人会議		1 入居者入所 16 施設見学(ご家族)

令和元年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(令和2年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3
生活介護	登録人員	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	入所												
	退所	1											
就労移行支援	登録人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入所												
	退所												
就労継続支援B型	登録人員	67	66	67	67	67	67	66	65	63	63	63	63
	入所		1										
	退所	1					1	1	2				1
合計		81	80	80	80	80	80	79	78	76	76	76	76

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 79.3 %

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	0	0	0名
就労継続支援B型	43	20	63名
生活介護	7	6	13名
合計	50	26	76名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	46	26	72名
氷川町	0	0	0名
芦北町	3	0	3名
菊陽町	1	0	1名
合計	50	26	76名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2085.2	45.4
女	1090.8	43.6
合計	3176	44.5

⑤ 障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	9	0	48	57名
身体	3	0	10	13名
精神	1	0	5	6名
合計	13	0	63	76名

⑥年齢別

	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60歳 以上	合計
男	0	4	9	4	1	12	11	9	50名
女	0	0	3	3	2	11	5	2	26名
合計	0	4	12	7	3	23	16	11	76名

3. 職員配置状況(令和2年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計 職員数
管理者	1	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1兼務	2(管理者兼務)
看護師	1			1
職業指導員		1	9	10
生活支援員	1	1	1	3
就労支援員		1		1
目標工賃達成指導員			1	1
事務員兼職業指導員	1兼務(0.5)		1兼務(0.5)	1
合 計	3.5	3	12.5	19

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	13名	243件	243日	2,001人	60,000円	60,000円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。工賃支給により、意欲向上が図られた。						

・就労移行支援事業

(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	9名	900件	241日	1,949人	15,470,000円	16,085,254円
利用者の能力向上(取り組む姿勢、仕分け、製本他)により、作業能率が上がった。						

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	7名	42,624個	238日	1,247人	50種	5,361,000円	5,222,561円
主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。							

・就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	13名	744,740個	240日	2,896人	8,057,000円	8,136,811円
九州全域からのイオン・マックスバリュ・COCOSAなど、受注数(個数)が増加した。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
3名	18名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,218,000円	4,215,534円	
・麦島東公園		作業稼働日数	173日	延べ人員	2,193人
・末広公園		作業稼働日数	126日	延べ人員	892人
・水無川公園		作業稼働日数	137日	延べ人員	1,099人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	99日	延べ人員	508人
・熊本総合病院駐車場		作業稼働日数	14日	延べ人員	177人
・上片墓園		作業稼働日数	103日	延べ人員	599人
昨年に続き、上片墓園清掃を受注することが出来た。機械作業人員増加により作業効率向上。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	16 名	フルーツキャップ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・シール貼り			1,312,000 円	1,336,314 円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,038,674 個	231 日	2,642 人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		38,899 個	17 日	77 人	すずきパッケージ(下請)八代市	
箱製缶		46,090 個	76 日	327 人	中川パッケージ(下請)八代市	
ボール洗浄		60,000個	11 日	135 人	(株)モードテラ(下請)東京都	
EMボカシ製造・販売		1,906 個	10 日	44人	自主製品	
ひな祭りパンフ梱包		547 枚	5 日	13 人	ひな祭り実行委員会(八代)	
シール貼り		4,700 枚				
保護メガネ		2,220 枚	4 日	19 人	八代合同花火競技大会実行委員会	
トマト箱折り		119,000 枚	80 日	479 人	熊本青果物出荷組合	
重度者向けの作業種目として位置付け、実施してきた。						
フルーツキャップは 3 か月～4 か月生産数の制限があり、又、段ボールに関しては依頼される数がへったが、ひな祭りパンフ仕分け作業など、新規の作業依頼があった。						

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 13名	就労移行 0名	就労B型事業 63名	一人当たりの月額平均工賃
3,307 円	0 円	16,524 円	14,275 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30～16:00 ・対象者 0名 ・指導者 2名	・就労への意識付け ・挨拶の重要性について ・パソコンに関する知識の向上 ※受け入れ態勢は整えているが、利用希望者が年々減少し、実績として対象者が 0 名であった。※八代市内の就労移行利用者減少傾向。	・就職に必要な心構えについて ・履歴書の書き方
--	--	---------------------------------------

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒 歩	自 転 車	自家用 車送迎	自家 用車	バイク
コース	車 種	人 員					
南廻り（郡築方面）	リフト付きマイクロバス	16 名	5 名	12 名	8 名	1 名	0名
北廻り	29人乗りマイクロバス	15 名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	6 名					
坂本廻り	4人乗りワゴン	3 名					
日奈久廻り	4人乗りワゴン	3 名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	7 名					
計	6台	50 名	5 名	12 名	8 名	1 名	0名
合 計	76 名						

※送迎支援を実施した結果 ・利用者定員の確保に繋がった。・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

9. 地域との交流

- ①高田小学校、中学校との実習を含めた交流、職場見学等を行った。
- ②中九州短期大学、幼児保育学科、経営福祉学科の実習を受け入れた。
- ③高田公民館祭りに参加し、パン販売を実施した。
- ④毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)
- ⑤千の穂さんと共同で、施設に隣接する歩道と花壇の清掃を実施した。

10. 支援結果

(1)生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動

嘱託医の指導により(健康診断結果等を報告)を踏まえ助言を頂き、個別に歩行訓練・機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行困難な利用者の下肢強化に繋がった。

- ・学習活動、創作活動、余暇活動、生産活動

- ①数字、文字(ご自身の名前を中心に)繰り返し学習する事で、ご自身でサインができるようになった。
- ②創作活動では、季節ごとのイベントで周囲利用者の方々にも楽しんでもらえるように展示を行った(クリスマスツリー・七夕飾り等)。
- ③余暇活動では自分の思い通りに色付けを行ってもらい年間カレンダーを作成することができた。
ドライブを通じて、外出する喜び・季節を感じる事ができる喜びを養う事ができた。
- ④生産活動を取り入れる事で、メリハリのある一日を過ごす事・残存能力を維持できる事ができた。
・重度利用者(区分 5 強度行動障害)に対しては、職員を増員し、1 対1での対応を行った。

(2)就労移行支援事業

①パン製造・販売

- ・利用者各々が自らが担当する作業に対して自責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、ノリ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。

- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。
- ・細かい技術面の支援により、利用者の方々一人ひとりが取り組める作業内容を増やすことが出来た。

(3)就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身についてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②公園作業

- ・作業やその他 付随する業務の役割分担をすることで、自主性が身についてきた。
- ・毎日の作業朝礼を通じ声掛けを継続することで、時間を守れるようになった。
- ・作業を通じて周囲への配慮や協調性が身についてきた。

③軽作業、

- ・挨拶、返事の習慣が身についた。
- ・フルーツキャップ折、トマト箱折り、段ボール糊付け、ボカシ製造等を通して、各作業への感心が高まり勤労意欲に繋がった。又、協調性、持続性が身についた。
- ・手先を使う作業が多いことから、手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ・こだわりの強い利用者へ職員が連携し、統一した支援を行った結果、改善傾向にある。

(4)一般就労移行者(就職)

就労継続支援B型事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業	浅沼喜大	男	35歳	令和元年11月	らぷらんどカフェ八代

11. 自主事業の実施

10回目のたいよう祭(11月3日文化の日)を自主事業として実施し、大勢の来場者を得られた。

12. 苦情解決・第三者委員への報告

- ①前年度アンケートをもとに、苦情・要望に関する案件を報告した。(令和元年9月30日)
 - ②回答率 73%
 - ③職員会議にて内容を精査、共有し、支援内容の改善に努めた。
- ※第三者委員へ提出する重大な案件はなかった。

令和元年度行事実施表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	1-6利用者体調週間 13 家族会総会 13 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 利用者特定健診(40歳以上)	24 避難訓練	3 臨時職員会議 10 生活介護会議 10 支援員勉強会 11 就労B型会議 17 職員会議 17 支援員勉強会		9 高田小学校入学式参加 10 地域清掃	16 城南ブロック施設長会 1名 18いきいきふくスポーツ大会会議 1名 25 すまいるフェスタ実行委員会 2名 26 施設協会施設長会 1名
5	7-10 利用者体調週間 11 レクリエーション(ドライブ) 18 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 すまいるフェスタ参加(人吉市)	29 避難訓練	14 生活介護会議 15 就労B型会議 15 支援員勉強会 22 職員会議 22 支援員勉強会	22-23 八代二中 1名	8 地域清掃 18 八代市支援学校運動会へ参加 21 施設見学 松西支援学校3名	20 八幡協議会 1名 21 社会就労センター施設長会 1名 22 就労ネットワーク会議 3名 23 すまいるフェスタ運営委員会 2名 24 中九州短大実習説明会 1名 28 就労ネットワーク会議 2名 29 施設協会評議委員会 2名
6	3-8 利用者体調週間 6 社会科見学(軽作業班:熊本市方面) 8 レクリエーション(ドライブ) 13 八代支援学校実習反省会 14 熱中症対策講習会(利用者・職員) 29 市いきいきふくスポーツ大会参加	26 避難訓練	11 生活介護会議 12 就労B型会議 12 支援員勉強会 19 職員会議 19 支援員勉強会	10-14 八代支援学校 1名 10-25 中九州短大 4名 17-21 松橋支援学校 1名	4 施設見学 高田小4年生58名 12 地域清掃 19 施設見学 松橋支援永川教室 3名 24 施設見学 すまいる 3名	10 市町村審査委員研修 1名 28 すまいるフェスタ反省会 2名
7	1-5 利用者体調週間 27 レクリエーション(DVD鑑賞)	23 避難訓練	12 生活介護会議 16 就労B型会議 23 職員会議 23 支援員勉強会 31 支援員勉強会	2-4 八代第五中学生 2名 2-4 八代第三中学生 1名 2 八代第一中学生 1名	1 施設見学 個人2名 10 地域清掃	1 八幡協議会 1名 18-19 相談支援従事者初任者研修 3名 24 相談支援従事者初任者研修 1名 25 就労ネットワーク会議事前打合せ 2名 30 就労ネットワーク会議 2名
8	3 レクリエーション(ドライブ) 5-9 利用者体調週間 5 利用者検診40歳以下(市医師会) 24 レクリエーション(DVD鑑賞) 31 レクリエーション(ドライブ)	25 避難訓練	20 生活介護会議 21 支援員勉強会 21 就労B型会議 21 職員会議 25 支援員勉強会	19-9/3 中九州短大 2名	2 施設見学 松西支援学校3名 20 施設見学 かんねさこ荘3名	20 実習打合(八代支援学校) 7 市いきいきふくスポーツ大会反省会 1名 22 日中活動支援部会連絡会 1名 27 事務担当職員研修会 2名 29-30 相談支援従事者初任者研修 1名
9	2-6 利用者体調週間 7 レクリエーション(DVD鑑賞) 21 レクリエーション(ドライブ) 28 レクリエーション(ドライブ)	18 消防総合訓練	11 就労B型会議 12 生活介護会議 18 職員会議 18 たいよう寮内部会議 18 支援員勉強会 25 支援員勉強会	8/19-9/3 中九州短大 2名 24-27 松橋支援学校 1名	11 地域清掃 13 施設見学・事前打合せ 八代支援学校3名 13 施設見学・事前打合せ 松橋支援学校1名	10 サービス管理責任者研修 2名 18 就労ネットワーク会議 2名 24-25 相談支援従事者現任者研修 1名 24 就労ネットワーク会議 2名
10	3 実習反省会 7-11 利用者体調週間 8 社会科学習(公園班:霧島方面) 12 たいよう祭実行委員会 12 内部研修(感染症研修) 12 レクリエーション(DVD鑑賞) 18 社会科学習(カゴ班:天草方面) 19 レクリエーション(ドライブ) 24 社会科学習(印刷班:阿蘇方面)	29 避難訓練	15 生活介護会議 16 就労B型会議 16 支援員勉強会 17 支援員勉強会 23 職員会議 23 支援員勉強会	2-3 八代支援学校 1名	9 地域清掃	7 成年後見制度研修 2名 16 就労支援セミナー 2名 17 福祉サービス苦情解決研修 1名 17-18 防火管理者講習会 2名 18 相談現任者研修 1名 21 食品衛生講習会 1名 25 福祉人材採用力向上セミナー 1名 30 サービス管理責任者基礎研修 2名
11	3 令和改元記念たいよう祭 5-8 利用者体調週間	27 避難訓練	12 生活介護会議 14 就労B型会議 20 職員会議 20 支援員勉強会 27 支援員勉強会	5-15 松橋西支援学校 1名	9 八代学園祭へ出席 2名 11 秀岳館高校花馬来所 13 地域清掃	18 就業支援連絡会議研修会 1名 20 社会福祉法人会計事務研修会 1名 26 障害者虐待防止研修 1名 26 就労ネットワーク会議 1名 28-29 全事協九州ブロック職員研修 1名
12	2-6 利用者体調週間 7 お楽しみ交流会(家族会合同) 14 レクリエーション(ドライブ) 21 レクリエーション(DVD鑑賞) 26 餅つき会 27 大掃除・利用者仕事納め	27 避難訓練	11 就労B型会議 11 生活介護会議 11 支援員勉強会 18 職員会議 18 支援員勉強会	5-6 八代第一中学生 1名	4 美化運動(千の穂合同)	2 保育実習説明会 1名 10 工賃向上研修会 1名 13 障がい者就労支援センター 1名 20 城南ブロック施設長会 2名 23 就労センター施設長会 1名
R2.1	5 仕事始め 5-10 利用者体調週間 11 レクリエーション(初詣) 17 レクリエーション(鏡開き) 18 レクリエーション(3B体操) 25 レクリエーション(DVD鑑賞)	29 避難訓練	15 生活介護会議 15 支援員勉強会 16 就労B型会議 22 職員会議 22 支援員勉強会	30-31 県社協通じ個人1名	9 地域清掃 29 施設見学 中九州短大3名	17 県施設協会施設長連絡会 1名 21 就労ネットワーク事前会議 1名 23 就労ネットワーク会議 3名
2	3 豆まき 4-7 利用者体調週間 15 レクリエーション(ドライブ) 22 レクリエーション(DVD鑑賞) 29 レクリエーション(DVD鑑賞)	26 避難訓練	12 部門長会議 13 生活介護会議 13 支援員勉強会 14 就労B型会議 19 職員会議 19 支援員勉強会	3-19 中九州短大 4名 25-3/11 中九州短大 5名	5 地域清掃	3 県障害者虐待防止権利擁護研修会 1名 4 避難確保計画作成に係る講習会 1名 6 日中活動支援部会 1名
3	2-6 利用者体調週間 7 レクリエーション(ペタンク) 14 レクリエーション(DVD鑑賞)	18 消防総合訓練	4 支援員勉強会 11 生活介護会議 11 支援員勉強会 12 就労B型会議 19 職員会議	2/25-3/11 中九州短大 5名	4 地域清掃	
合計				実習(体験)件数 17件 実習(体験)延べ人数 34人	交流団体件数 15件 交流者延べ人数 82名	